

K7 横浜北線 (**K1** 横羽線 ~ 第三京浜) 開通後の整備効果について

首都高速道路株式会社 (本社 : 東京都千代田区、代表取締役社長 : 宮田 年耕) は、平成 29 年 3 月 18 日 (土) に開通しました **K7** 横浜北線 (**K1** 横羽線 ~ 第三京浜) について、開通後の整備効果を取りまとめましたのでお知らせします。

1. アクセシ性向上

- ◆新横浜駅から羽田空港間の所要時間は約 8 分短縮 (約 43 分⇒約 35 分)、新横浜から横浜港の間の所要時間は約 6 分短縮 (約 24 分⇒約 18 分) とアクセシ性向上に寄与しています。

2. 生産性向上

- ◆配送時間が 1 日当たり最大約 40 分短縮し、残業時間の短縮といった生産性の向上に寄与しています。

3. 救急救命活動への貢献

- ◆高速利用による時間短縮、複数ルートの確保により、安定した血液搬送が実現しています。

4. 利用者の声

- ◆ご利用されたお客様から、移動時の時間短縮により利便性向上を実感しているとの声をいただいています。

(参考) 交通状況の変化

- ◆**K7** 横浜北線は、1 日あたり約 20,000 台 (新横浜 ~ 岸谷生麦間) のご利用をいただいています。経路転換による所要時間短縮などの効果が発揮されています。

【ご注意ください】

横浜港北ジャンクション (JCT) は、**K7** 横浜北線と第三京浜が接続する JCT です。一般道路との乗り降りはありません。**K7** 横浜北線をご利用の方は、新横浜出入口をご利用ください。

記者発表クラブ 国土交通記者会、横浜市政記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

お問い合わせ先

首都高速道路株式会社	計画・環境部 計画調整課	TEL 03-3539-9389
	経営企画部 広報課	TEL 03-3539-9257

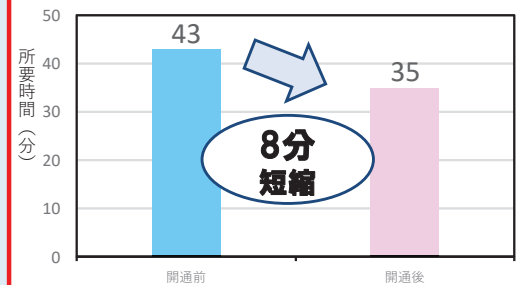
- 新横浜駅と羽田空港（空港中央出入口）間の所要時間は、開通前の約43分から開通後には約35分と約8分短縮されています。
- 新横浜（新横浜出入口）と横浜港（本牧ふ頭出入口）の間の所要時間は、開通前の約24分から開通後には約18分と約6分短縮されています。

所要時間の変化（新横浜駅～羽田空港）



約8分短縮

新横浜駅～羽田空港（空港中央入口）



<使用データ> 車両感知器による平日平均データ

開通後：平成30年3月19日(火)～平成30年4月13日(金)
開通前：平成28年3月22日(火)～平成28年4月15日(金)

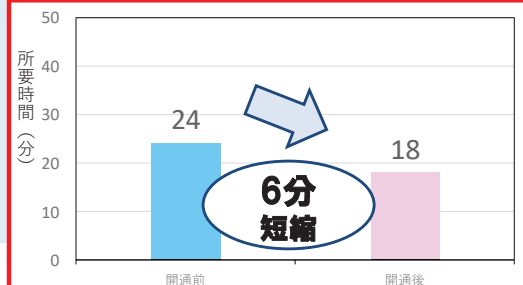
※年間の平均的な混雑時における所要時間
※開通前は港北ICを利用

所要時間の変化（新横浜～横浜港）



約6分短縮

新横浜（新横浜出入口）～横浜港（本牧ふ頭入口）



<使用データ> 車両感知器による平日平均データ

開通後：平成30年3月19日(火)～平成30年4月13日(金)
開通前：平成28年3月22日(火)～平成28年4月15日(金)

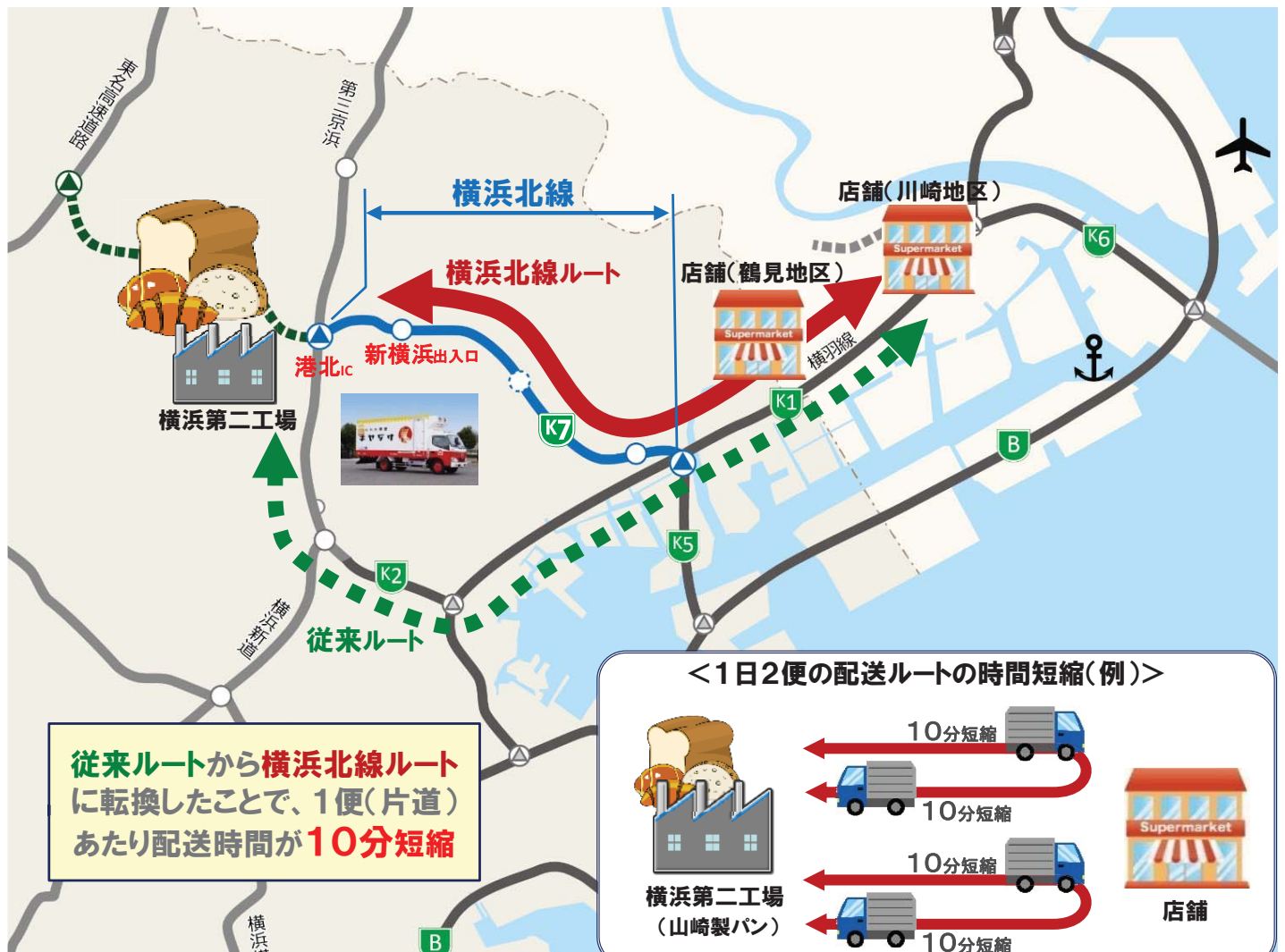
※年間の平均的な混雑時における所要時間
※開通前は港北IC、新山下出入口を利用

- 横浜北線沿線のパン工場から川崎・鶴見地区への配送ルート横浜北線に変更し、1便（片道）あたり10分短縮しています。
- 1日2便の配送ルートでは、**1日当たりの配送時間が最大約40分短縮**しています。
- 配送時間の短縮に伴い、**生産性が向上し、残業時間の短縮などの労務管理面において企業活動が効率化**しています。

生産性の向上

事例1：山崎製パンの企業活動の効率化

横浜北線の利用により新たな配送ルートが形成され、配送時間が短縮



横浜北線ルート：首都高(横浜北線・横羽線)、従来ルート：第三京浜・首都高(三ツ沢線・横羽線)

横浜北線を利用することで、川崎や鶴見地区への配送ルートにおいて、**1日あたりの配送時間が10～40分の短縮**しています。

配送時間の短縮は、**残業時間の短縮に寄与**しており、今後の配送ルートの再編成を行うことで、労働時間の平準化など労働環境の改善につなげていきたいです。



【パン製造工場の声】
山崎製パン(株)

- 横浜北線を利用されたお客様から、便利でスムーズに利用することができて満足などの声をいただいています。

お客様の声

新横浜から生麦へ友人を迎えに行く際、今までは一般道を通っていたが、30分も早く時間短縮できたし、予定も立てられるので便利。



横浜市在住 30代男性

川崎から第三京浜、横浜ベイブリッジを經由して湾岸線に出ていたが、今は横浜北線を經由して、大黒線に抜けられるようになったので、距離が4kmくらい短く早くなった。



川崎市在住 70代男性

遠回りしなくてすむようになり、東京ディズニーランドや幕張方面へ遊びに行く機会が増えた。



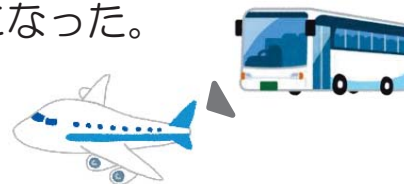
横浜市在住 50代女性

取引先へ行くとき、いつも渋滞にはまりギリギリだったが、横浜北線を利用することで余裕をもって仕事に取り組むことができるようになったので良いと思う。



川崎市在住 30代男性

センター北駅（横浜市都筑区中川中央一丁目）から羽田空港連絡バスを利用したが、早くて便利になった。

横浜市在住 30代男性
(都筑区)

横浜北線を利用すると、港北ICで降りられないので不便である。



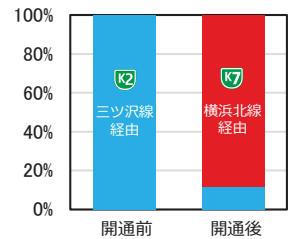
横浜市在住 40代女性

- 横浜北線は、1日あたり約20,000台(新横浜～岸谷生麦間)のご利用を頂いている。
- 特に、三ツ沢線に集中していた第三京浜と大黒ふ頭方面との利用者の大半が、横浜北線のご利用に転換している。

開通後の交通量変化



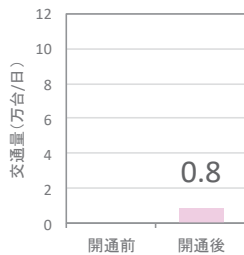
○ 第三京浜⇄大黒ふ頭利用の分担率



※ETC2.0プローブデータによる
平成28年10月平日平均と平成29年10月平日平均

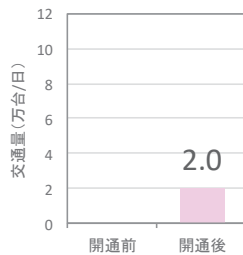
①横浜北線

横浜港北JCT～新横浜



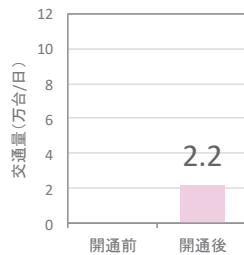
②横浜北線

新横浜～岸谷生麦



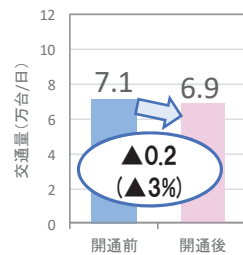
③横浜北線

岸谷生麦～生麦JCT



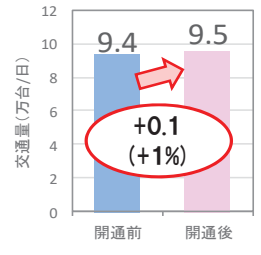
④横羽線

浅田～浜川崎



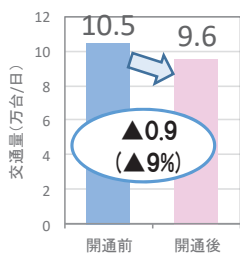
⑤湾岸線

大黒JCT～東扇島



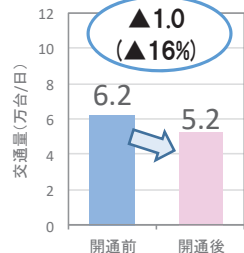
⑨第三京浜

港北～羽沢



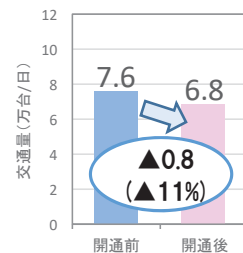
⑧三ツ沢線

第三京浜・横新～三ツ沢



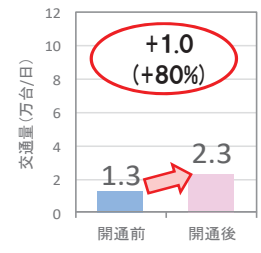
⑦横羽線

東神奈川～子安



⑥大黒線

生麦JCT～大黒ふ頭



<単位> 万台/日

<使用データ> 首都高速道路及びNEXCO東日本 車両感知器による平日平均データ

開通後：平成29年3月19日(日)～平成30年3月18日(日) 開通前：平成28年3月18日(金)～平成29年3月17日(金)